

県高校生徒商業研究発表大会

長崎商業が最優秀

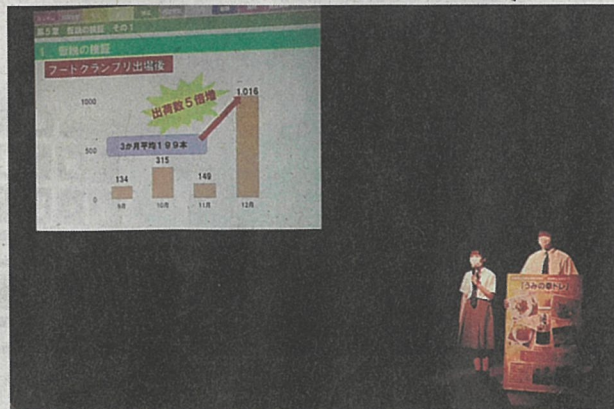
ドレッシング 販路開拓 紹介

商業を学ぶ高校生による「第56回県高校生徒商業研究発表大会」が28日、佐世保市三浦町のアルカスSASEBOで開かれ、最優秀賞に長崎市立長崎商業高が選ばれた。同校は8月23日に鹿児島県で開催される九州大会に出場する。

県商業教育研究会が毎年開催。県内の商業高校など計5校生徒45人が参加した。

長崎商業高の演題は「幸色の販路開拓～うみの幸ドレの商品流通を目指して～」。同校は昨年、チョコー醤油（長崎市）と、姉妹校である広島市立広島商業高と共に、しょうゆベースのドレッシング「うみの幸ドレ」を開発、販売。発表では、全国規模の「商業高校フードグランプリ」に出場して地域貢献賞などを受賞したり、アレンジレシピの調理、販売をしたりするなどの販路拡大の取り組みを紹介した。

優秀賞には県立島原商業高の「島原にんじん大作戦～規格外にんじん救うの巻～」と、県立佐世保商業高の「地域進幸で佐世保をスケールアップ～西から届けよう私たちが作る幸せの町～」が選ばれた。（堀内優子）



最優秀賞に選ばれた長崎市立長崎商業高の発表の様子
＝佐世保市、アルカスSASEBO